小川赤十字病院 化学療法レジメン

対象疾患名	濾胞性リ	ンパ腫及び辺縁帯リンパ腫		
申請レジメン名		R ² 療法	催吐リスク	軽度
放射線治療併用	□有	☑ 無	根拠文献	J Clin Oncol. 2019 May 10;37(14):1188- 1199.
1コースの目安	1コース	28日	投与回数上限	☑有(回)□無

レジメン内容 【サイクル1】

	No. 抗がん剤名 (溶解液等を含む)	標準的投与量	-																		Di	ay													
No.			投与量注釈	投与方法	投与時間 (投与速度)	上限量	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
1	カロナール錠200mg	2錠		内服	リツキシマブ投与 30分前		0							0							0							0							
2	アタラックスPカプセル25mg	2Cap		内服	リツキシマブ投与 30分前		0							0							0							0							
3	大塚生食注	100ml		点滴静注	ライン確保・ フラッシュ用		0							0							0							0							
4	リツキシマブBS点滴静注 大塚生食注	375mg/m³ 500mL		点滴静注	~6時間程度		0							0							0							0							
5	レブラミドカプセル	20mg/day		内服			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						1		

【サイクル2~5】

Ē	<u>-</u>																			Day	,												
No.	抗がん剤名 (溶解液等を含む)	標準的投与量	投与量注釈	投与方法	投与時間 (投与速度)	上限量	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25 2	6 2	7 28
1	カロナール錠200	2錠		内服	リツキシマブ投与 30分前		0																										
2	アタラックスPカプセル	2Cap		内服	リツキシマブ投与 30分前		0																										
3	大塚生食注	100ml		点滴静注	ライン確保・ フラッシュ用		0																										
4	リツキシマブBS点滴静注 大塚生食注	375mg/m ² 500mL		点滴静注	~6時間程度		0																										
5	レブラミドカプセル	20mg/day		内服			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						

注意事項

*レジメン名は、似た名称を避けるため変更することがあります。 *このシートは1コース分が記載されています。 *1回投与量の上限がある場合には上限量が記載されます。

備考(化学療法に必ず併用される特殊な手技・化学療法の中止基準)

実施回数は12サイクルまで リッキシマブ投与は5サイクルまで レブラミドの用量は患者の年齢・生理機能で調節します。